

平成23年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473601027	事業の開始年月日	平成17年9月1日	
		指定年月日	平成17年9月1日	
法人名	株式会社 アイシマ			
事業所名	グループホームあんず			
所在地	( 245-0008 ) 横浜市泉区弥生台45-4			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成23年1月19日	評価結果 市町村受理日	平成24年4月27日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473601027&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473601027&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

駅からも近く、緑豊かな住宅街の一角にあり四季を肌で感じることができます。入居者様との日常会話を大切に、ホーム全体が和むよう心掛けています。一人ひとりの「今」を大切に思い支援しています。また、ホーム避難訓練、自治会行事への参加時など、自治会長、民生委員はじめ地域住民の方々のご協力もあり、地域住民の一人として生活できる環境にあります。法人内の連携も取れ、医療面では訪問看護師、訪問歯科、内科、精神科の協力医療機関の方々とも連携がとれ24時間安心して生活することができます。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成24年2月25日	評価機関 評価決定日	平成24年3月27日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

「グループホームあんず」は相模鉄道いずみ野線「弥生台」駅から徒歩10分ほどの静かな住宅地の中にあります。周囲には公園や林があり、四季折々の自然を楽しむことができます。

<優れている点>

運営推進会議での働きかけ等の努力の積み重ねにより、地域の一員として良好な関係が構築されています。職員や入居者は日常的に地域住民と挨拶を交わしたり、公園清掃に参加したりして交流しています。また、夏祭り、運動会等の自治会の行事では、席が用意されているだけでなく地域住民の支援もあります。グループホーム側もボランティアや中学生の福祉体験を受け入れています。

<工夫点>

理念にある「今を大切に」を実践するため、入居者の「今出来ること」「今一番したいこと」を日常の会話の中から丹念に探し出し、ケアにつなげています。把握した「今したいこと」はラーメンを食べに外食したり、昔住んでいたところを訪問したり、昔の友人を探したりと個別支援につなげています。また、モップかけ、手すり拭き、食器拭き等の中で入居者一人ひとりに合わせた役割分担をし、入居者の「今できること」を引き出しています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームあんず
ユニット名	ゆめ

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム理念は、地域密着型サービスを念頭において考えました。理念をワーカー室や更衣室に掲示し、ホームカンファレンス等で確認し合い職員が実践に向け努力しています。	職員が日々確認できるよう、ホーム理念を玄関、更衣室、事務室、洗面所に掲示しています。職員は、理念の中の「今を大切に」に重点をおき、カンファレンス等で、入居者が「今しかできないこと」「今できること」について話し合いケアにあたっています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会主催の夏祭り、運動会、公園清掃等に参加させて頂いています。また、自治会防災訓練では、炊き出しを住民の方々と一緒に行いました。大正琴ボランティアに来られる方は地域住民の方々です。行事を通して、地域交流することができました。	自治会の夏祭り、運動会、公園清掃等の行事に参加しています。運動会では地域住民の介助でパン食い競争を行いました。散歩での会話など日常的な交流があります。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方が気軽に立ち寄れるよう第4日曜日をホーム開放日としています。自治会行事、地域住民参加防災訓練、運営推進会議を通して理解して頂いています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に1回のペースで開催しています。情報交換や、要望・意見を頂き、ホーム改善に活かしていくように心がけています。12月は包括支援センターエリア内にある5ホーム、小規模居宅介護支援事業所1ヶ所で開催を行いました。今年度は震災後の対策についての意見交換会をおこないました。	年3回、近隣のグループホームと合同で自治会、行政、入居者、家族が参加し開催していて、状況報告だけでなく災害対策などについて活発な意見交換がされています。また、年1回、新橋ケアプラザ圏域の事業所による全体会議が行われています。	自治会や行政の都合もありますが、年6回の開催に向けての更なる働きかけが期待されます。また、それぞれの特性を踏まえ、年1回はグループホーム単独での実施検討も必要かと思われます。
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議には、区の職員さんと地域包括支援センターの方が出席されて意見交換をしています。市・区の認知症高齢者グループホーム連絡会の参加や、市・区主催の研修に参加しています。高齢支援課、保護課に相談しアドバイスを頂くこともあります。	泉区の高齢・障害支援課、保護課の担当とは日常的に連絡を取り合い連携しています。グループホーム連絡協議会に参加し、職員が研修に参加しています。また、中学校と連携し、次世代育成のため中学生の福祉体験を受け入れています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会社全体の勉強会などで学んだり、身体拘束防止マニュアルを作成し、常に身体拘束しないケアに取り組んでいます。玄関は、訪問販売等不審な人も来た事があるので安全を保つためにも施錠しています。	身体拘束しないケアを実践していて、テラス、リビングの入り口などは自由に出入りすることができます。外に出たい入居者には職員が散策や外気浴に付き添い対応しています。言葉による拘束について全職員対象にアンケートを実施し気づきの機会としています。	
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアル・接遇マニュアルを作成し防止に努めています。会社全体の勉強会や、外部研修に交替で参加するなどして学ぶ機会を持ち意識づけを図っています。言葉使いチェック表も使用し日々のケアのあり方を振り返ります。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	横浜市グループホーム連絡会等で行われる権利擁護に関する研修に職員が参加できる機会を設けています。後見人制度を利用する方の入所を機に後見人制度についてカンファレンスで勉強する機会を設けています。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、退去を含め、ホームの考え方や取り組みについてご本人、ご家族に説明しています。医療連携体制についても説明し同意を得ています。なお、説明時には随時疑問に感じることを伺い、その都度説明をさせていただいております。後日疑問に思うことが出てきた場合でもその都度説明をさせていただきます。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書にホーム苦情相談窓口及び外部苦情申し立て機関の連絡先が記載されており、契約時に説明しています。家族会や面会時には、ご家族の意見・要望を伺い対応しています。また、日々の生活の中で入居者様の思いを引き出せるような環境づくりを心掛けています。	年2回の家族会のほか、家族が来訪した時には近況を報告し、要望、意見を聞いています。家族からの意見は職員で話し合い対応しています。具体的には、職員の名前が分からないという声から職員の名前と顔を載せたボードを入りに貼りだした例があります。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホームカンファレンスで出た職員の意見・要望・課題等を、管理者が集約し、毎月1回ある幹部会議で提議し改善可能なところは職員に反映しています。また、職員同士の日々の会話のなかから、意見を汲み取るように心がけています。	毎月の全体カンファレンスで、職員の意見や要望を言う機会を設けています。職員から出た意見は検討し、改善につなげています。また、季節の飾り付けや行事は担当制として担当に権限を委譲し、職員が意欲をもって取り組めるよう配慮しています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修や資格取得に向けて勤務調整を行う等、状況に応じ個々の力を活かせる労働環境づくりに努めています。季節の飾りつけ、行事担当を決め行っていたり責任感や充実感を持って取り組んでいます。職員間の親睦のために、会社として毎年職員旅行も企画しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年1回、幹部研修会があります。また、全職員対象の勉強会が毎月1回ありスキルアップに努めています。レポートは全員が提出しています。また、年1回パワーポイントを使用した事例検討発表会がありホーム全体で取り組みます。入職時には管理者がオリエンテーションを行ないます。外部研修にも参加できるように配慮しています。研修報告・資料は職員が閲覧できます。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜高齢者グループホーム連絡会に加入し講演会・勉強会に参加しています。連絡会主催の交換研修に参加し、他事業所とユニット単位で3日間の交換研修を実施しています。泉区の連絡会に参加し交流を図っています。また、運営推進会議を通じて包括支援センターや他グループホームとの交流があります。同法人内のホームとの交流が図られています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	要望や疑問点は随時相談できる体制がとれています。また、入居前には、ご本人とご家族にホーム見学をしていただいています。入所初期段階では安心して生活できるよう不安の解消に努め、職員間で申し送っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	要望や疑問点は随時相談できる体制がとれています。入所初期段階では安心していただける様に、ご本人様の状況を細かく報告させていただいております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の思い、状況等を考え可能な限り柔軟な支援をしています。場合によっては、病院など連携機関もある為、それらの利用も含めた対応を心がけています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事役割分担があり、生活場面の中において個々の能力が発揮できるよう支援しています。人生の先輩として教えて頂く事もたくさんあり、尊敬の気持ちを持って接しています。お互いに協力し合い、共に生活を支えている関係作りをしています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と一緒に法人内で行なわれるお祭りに参加し楽しんで頂ける機会を設けています。来所時には近況報告をし、必要に応じて電話での連絡をさせて頂き情報共有に努めています。気持ちが離れないように、面会のお願いをしています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間の時間制限は設けていません。お正月には遠方から家族揃って面会にこられたり、電話で話をされたりしています。昔からの友人が遊びに来られる方もいます。	家族や友人との関係が継続するよう、近況を報告するなど支援しています。生活歴や本人からの聞き取りから「今したいこと」や「今できること」を見つけ、昔住んでいた所を訪問したり、買い物やパチンコに出かけたりなどの個別支援を実施しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人役割分担があり、お互いに支え合うコミュニケーションが取られています。入居者様は1日の大半をリビングで過ごされているので、関係性には配慮して対応する事もあります。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所を検討する場合には、その後の行き先も含め十分な話し合いができるようにしていきます。近隣にお住まいの場合には、必要に応じて会社で運営している事業所の情報も提供し、在宅生活を支援できる体制が整っていることも伝えていきます。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	散歩や入浴等リラックスした日々の関わりの中で、本人の言葉や行動から意思や意向を把握するよう努めている。日常の記録に本人の言葉を残しています。意思疎通が困難な場合はご家族と協議し、最善策を取っていきます。	日々の会話の中での入居者の言葉は、ケース記録にそのまま記録し、その人らしさを探す手掛かりとしています。意思疎通が困難な入居者に対しては、二者択一式など答えやすいよう質問を工夫するとともに、表情や仕草から把握しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の訪問調査や契約時に、本人やご家族、ケースワーカーに生活歴や趣味等の聴き取りを行うと共に、日々の話の中から伺う事もあります。その情報を職員間で共有しケアに活かせるようにしています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	表情や行動からご入居者様の意向を汲み取るように心がけています。その生活状態を記録しており、24時間を通して職員間の申し送り等で状況の把握がされています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>日々の関わりの中でご本人やご家族思いや要望を聴き反映させています。また、カンファレンスを行い職員全員が情報や意見を出し合っています。</p>	<p>ケアプランは、原則3ヶ月に一度の見直しと、日々のケアの中で課題がある時は随時に見直すなど現状に即し見直し・作成しています。ケアプランはカンファレンスでの全職員の意見をもとに、家族の意向、医師の意見などを取り入れ作成しています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人の生活記録に加え、ケースノートがあり気づきや課題点等を自由に記入できるようにしています。職員全員が出勤時に確認し把握しています。ケアプラン見直しは各記録に基づいて行なっています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人やご家族の状況に応じて通院等必要な支援は行なっています。また、入居者様の今一番したいことを支援し外食・買物等へ出かけています。レストラン風の音での月1回食事会・月2回の音楽療法もあります。また、会社の様々な事業所を組み合わせ柔軟な対応が取れる体制も整っています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自治会に加入しており、夏祭りや運動会等に参加しています。運動会では、地域の方々が介助を手伝ってくださり、多くの入居者様が競技に参加することができました。また、大正琴等、地域の方がボランティアに来て下さっています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前のかかりつけ医を中心に考えながらも、内科と精神科の協力医療機関があり、ご本人やご家族の希望を聞き主治医を決めて頂いています。また、病状の変化により主治医の変更もでき、適切な医療を受けられる体制がとられています。</p>	<p>月2回の内科医、精神科医、週1回の歯科医、訪問看護ステーションの訪問があります。かかりつけ医を継続したい場合は家族または必要に応じてホームが対応しています。内科医とは、「在宅療養計画書」の内容をケアプランに取り入れる等の連携ができています。</p>	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションとの契約に基づき日々の健康管理をして頂いています。相談にのって頂いたり、助言して頂く事もあります。また、24時間連絡体制を取っていますので急変時等にも指示が受けられ、協力医療機関とも連携体制が取れています。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院医療機関の医師・看護師・相談員と話をする機会を作り、ご家族の意向も踏まえ、ホームでの生活が可能な段階で退院できるよう医療機関、ご家族と協議し決めます。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合における対応に係る指針を定められています。ご家族、主治医、訪問看護師、管理者で今後の医療方針について協議し、ご本人、ご家族の希望を尊重し、終末期に向けた医療の選択を行なっています。その方にふさわしい送りを心掛けています。	重度化した場合には、医師、訪問看護師、家族など関係する全員で話し合い、意向を確認し同意書を取り対応しています。ケアプラン作成に当たっては、職員全員、家族が参加するカンファレンスで訪問看護師が説明し、方針を共有し看取りにあたっています。	
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会社全体の勉強会や研修を通して「緊急時対応マニュアル」を作成し、いつでも職員が見れるよう事務所においてあります。泉区主催救命救急講習や防災訓練に参加しています。また、横浜市の防火安全研修にも参加しています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自治会主催の防災訓練に参加しました。また、地域住民参加の夜間想定防災訓練を消防署指導のもと実施しました。自治会長はじめ地域住民5名の参加があり、積極的なご意見を頂くことができました。ホーム職員は全員が参加しています。備蓄品はホームで3日分、法人でも準備されています。	年2回の避難訓練を実施しています。夜間想定避難訓練は消防署立ちあいのもと、地域住民も参加して実施しました。地域住民とは役割分担などの協力体制もできています。訓練時に出た地域住民からの意見は、法人で検討し、順次改善しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入職時やカンファレンスでプライバシー保護、個人情報取り扱い、守秘義務等について説明し、職員の意識向上を図っています。また、日々の業務では周囲に配慮し、声の大きさに気をつけています。会社全体の勉強会のテーマに上がることもあります。	職員アンケートや「言葉使いチェック表」を用いての振り返りや気づきをもとにカンファレンスで話し合い、声の大きさの配慮などでケアに反映しています。年度目標に「振り返りを大切にしよう」を取り入れる等、職員が互いに気をつけあう土壌が育っています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	1日の生活の中では特に制限を設けず、入居者様の意思を尊重し生活して頂いています。日々の生活の中では常に受容の態度で接し、ご本人の意思決定を待ち物事をすすめています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の状態に配慮し柔軟に対応しています。入居者様の「今」出来ること、「今」したいことを大切にしたい対応を心掛けています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日に着る服は、ご本人が決めています。自己決定がしにくい方には職員と一緒に選んでいます。定期的に訪問理容を利用しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	敷地内で野菜を育てており、その収穫を職員と入居者様とで行なっています。献立についても相談し、出来る範囲で対応し、食事形態をご本人に合わせています。また、野菜の皮むき、味見、盛り付け、食器拭き等をして頂いています。月1回、風の音へ外出しに出掛けます。季節ごとの行事等では普段と違った食事を楽しみます。	献立は入居者の希望を聞き、食材の在庫に合わせてその都度決めて調理しています。季節の行事食や手作り弁当持参の外出、月1回レストランでの外出などを実施し、気分転換を兼ねて食事を楽しむ工夫をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を毎日チェック表に記録し、体調管理に努めています。個々の状態に合わせた食事形態で提供しています。また、1週間の献立をもとに摂取カロリーの算出を依頼し、栄養バランスの把握にも努めています。週1回体重測定も実施しています。		
42		<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っています。仕上げは職員が介助し舌のケアも行なっています。就寝時は市販の洗浄剤にて義歯の洗浄を行なっています。週1回歯科往診があり口腔ケアを行っています。		
43	16	<b>排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて記録をとり、周期やパターンを把握できるようにしています。夜間と日中で対応を変える等、個々に合わせた対応をしています。	食事・水分量の摂取状況や排泄チェック表を使用し入居者ごとに排泄パターンを把握しています。これを基に一人ひとりのトイレ誘導を適切に行い自立を促しています。また失敗しても次回の誘導に活かせるような支援を心掛けています。	
44		<b>便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床後に全員に冷たい牛乳を飲んで頂いています。炊飯時には、粉寒天を混ぜて炊いています。また、散歩とはまちゃん体操は毎日の日課となっています。天候の悪い日には廊下歩きをしています。		
45	17	<b>入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的には毎日の入浴となっていますが、ご本人様の希望で1日おきに入る方もいます。湯温や湯量も個々に合わせ対応しています。足浴等も取り入れています。また、ゆず湯や菖蒲湯等、季節を楽しんで頂いています。	本人の希望に合わせた入浴を支援しています。当日の入浴希望や順番は入居者同士が相談をして決めています。入浴中は職員と会話や歌を楽しんでいます。また季節のゆず湯や菖蒲湯を用意するなどの入浴を楽しむための工夫をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>就寝時間の設定はしておらず、個々のリズムに合わせています。午後、休む習慣の方もいらっしゃいます。日中、散歩やアクティビティー等を行い活動的に生活し、夕食後は穏やかな時間を持ち、安眠へとつなげています。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人ファイルに、ご本人が内服している薬の説明書がファイルされ確認できます。薬の処方内容に変更があった場合、症状の変化などを観察、記録し、主治医に報告しています。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>役割分担があり、張り合いを持って生活できるよう支援しています。一日一回は、社歌に合わせ職員と一緒に唄ったり、踊ったりし気分転換をされる方もいます。月1回の通院時、売店でアンパンとコーヒーを購入することを楽しみにしている方もいます。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>個々の希望に添った個別支援の取り組みをはじめました。お弁当を作って出掛けたり、入居前に住んでいた地域を巡ったり、外食を楽しんだりしています。また、レストラン風の音へ月1回食事会、月2回音楽療法に出掛けています。本社からの送迎支援もあります。</p>	<p>日常的な散歩や買物、季節行事の花見やお祭り、鯉のぼり見学等、外出の機会を多数実施しています。また「本人の一番の夢を叶える」を目指し積極的に個別外出を支援しています。以前住んでいた地域を訪問し昔の記憶がよみがえった入居者もいます。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>おこづかいとしてホームでお金を預かっている方もいます。収支を記録しています。買物と一緒に出掛け、ご自分で会計することもあります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はかけたい時には、いつでもご利用できます。入居者様へご家族より電話が入り話をされることもあります。遠くの家族から、毎年届く年賀状を楽しみにされている方や、家族に手紙を書かれる方もいます。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の大半はリビングで過ごしているため、リビングの大きな窓から自然と光が入り、日光浴ができています。季節にあった題材を選ぶことで工作等の創作物から季節感を感じてもらえるよう工夫しています。玄関、リビングには季節の花を飾っています。	リビングは採光がよく空調も適温が保たれ、廊下、トイレには安全を考慮し手すりが設置されています。フロアには余分なものは置かず、車イスでも移動しやすいように整えられています。入居者同士の関係にも配慮し居心地よく過ごせるように工夫しています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間には食席のほかソファや和室があり入居者が思い思いの場所で過ごせるようにしています。テレビを観たり、新聞を読んだり、塗り絵やゲームをしたり、窓際で日なたぼっこしながら縫い物をされたりと、それぞれの時間を過ごされています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室のレイアウト等は、個々の好みや馴染みの物が使用されています。壁にはご家族が撮影された写真を飾ったり、ご自分が落ち着ける環境となっています。居室ごとに、その人らしさが表れています。	各居室のドアには、表札や入居者に似合った言葉と絵が書かれた色紙が飾られています。室内はそれぞれの好みで居心地よく設えています。居室担当の職員が季節ごとに荷物の入れ替えを手伝っています。掃除は毎朝全員で行っています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リビング、廊下には物を置かず車椅子の方が自乗しやすいようにし、テーブル席は出入りしやすい場所としています。台所の外に設けているシンクを使い入居者様と職員が向かい合い調理や野菜洗い、布巾洗いをしています。		

事業所名	グループホームあんず
ユニット名	かがやき

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム理念は、地域密着型サービスを念頭において理念を考えました。理念をワーカー室や更衣室に掲示し、ホームカンファレンス等で確認し合い職員が実践出来る様に努力しています。		
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会主催の夏祭り、運動会、公園清掃等に参加させて頂いています。また、自治会防災訓練では、炊き出しを住民の方々と一緒に行いました。大正琴ボランティアに来られる方は地域住民の方々です。行事を通して、地域交流することができました。		
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方が気軽に立ち寄れるよう第4日曜日をホーム開放日としています。自治会行事、地域住民参加防災訓練、運営推進会議を通して理解して頂いています。		
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に1回のペースで開催しています。情報交換や、要望・意見を頂き、ホーム改善に活かしていくように心がけています。12月は包括支援センターエリア内にある5ホーム、小規模居宅介護支援事業所1ヶ所で全体会を行っています。今年度は震災後の対策についての意見交換会をおこないました。		
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議には、区の職員さんと地域包括支援センターの方が出席されて意見交換をしています。市・区の認知症高齢者グループホーム連絡会の参加や、市・区主催の研修に参加しています。高齢支援課に相談しアドバイスを頂くこともあります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会社全体の勉強会などで学んだり、身体拘束防止マニュアルを作成し、常に身体拘束しないケアに取り組んでいます。玄関は、訪問販売等不審な人も来た事があるので安全を保つためにも施錠しています。		
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアル・接遇マニュアルを作成し防止に努めています。会社全体の勉強会や、外部研修に交替で参加するなどして学ぶ機会を持ち意識づけを図っています。言葉使いチェック表も使用し日々のケアのあり方を振り返ります。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用されている方の入所がありました。制度をうまく活用出来る様に職員も成年後見人との連絡を密に取れる体制を整え支援出来る様にしています。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、退去を含め、ホームの考え方や取り組みについてご本人、ご家族に説明しています。医療連携体制について説明し同意を得ています。なお、説明時には随時疑問に感じることを伺い、その都度説明をさせていただいております。後日疑問に思うことが出てきた場合でもその都度説明をさせていただきます。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書にホーム苦情相談窓口及び外部苦情申し立て機関の連絡先が記載されており、契約時に説明しています。家族会や面会時には、ご家族の意見・要望を伺い対応しています。また、日々の生活の中で入居者様の思いを引き出せるような環境づくりを心掛けています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホームカンファレンスで出た職員の意見・要望・課題等を、管理者が集約し、毎月1回ある幹部会議で提議し改善可能なところは職員に反映しています。また、職員同士の日々の会話のなかから、意見を汲み取るように心がけています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修や資格取得に向けて勤務調整を行う等、状況に応じ個々の力を活かせる労働環境づくりに努めています。季節の飾りつけ、行事担当を決め行っていたり責任感や充実感を持って取り組んでいます。職員間の親睦のために、会社として毎年職員旅行も企画しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年1回、幹部研修会があります。また、全職員対象の勉強会が毎月1回ありスキルアップに努めています。レポートは全員が提出しています。また、年1回パワーポイントを使用した事例検討発表会がありホーム全体で取り組みます。入職時には管理者がオリエンテーションを行ないます。外部研修にも参加できるように配慮しています。研修報告・資料は職員が閲覧できます。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜高齢者グループホーム連絡会に加入し講演会・勉強会に参加しています。連絡会主催の交換研修に参加し、他事業所とユニット単位で3日間の交換研修を実施しています。泉区の連絡会に参加し交流を図っています。また、運営推進会議を通じて包括支援センターや他グループホームとの交流があります。同法人内のホームとの交流が図られています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	要望や疑問点は随時相談できる体制がとれています。入所初期段階では安心して生活できるよう不安の解消に努め、職員間で申し送っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている	要望や疑問点は随時相談できる体制がとれています。入所初期段階では安心していただける様に、ご本人様の状況を細かく報告させていただいております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の思い、状況等を考え可能な限り柔軟な支援をしています。場合によっては、病院など連携機関もある為、それらの利用も含めた対応を心がけています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事役割分担があり、生活場面の中において個々の能力が発揮できるよう支援しています。お互いに協力し合い、共に生活を支えている関係作りをしています。趣味の話や、昔ながらの風習、慣わし等教えていただくことも沢山あります。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と一緒に法人内で行なわれるお祭りに参加し楽しんで頂ける機会を設けています。来所時には近況報告をし、必要に応じて電話での連絡をさせて頂き情報共有に努めています。ケアプラン作成時には意見を伺いながら反映させるように心がけています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間の時間制限は設けていません。ご家族と自宅に戻られたり、外食やお墓参り・買い物に出かけられる入居者様もいらっしゃいます。家族から電話がありお話される方や、家族へ年賀状や手紙を出される入居者様もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	出来ない事を助け合い、お互いに支え合う関係性が保たれています。食事やおやつの時間には話を引き出せるような環境作りに努めています。入居者様は1日の大半をリビングで過ごされています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所を検討する場合には、その後の行き先も含め十分な話し合いができるようにしていきます。近隣にお住まいの場合には、必要に応じて会社で運営している事業所の情報も提供し、在宅生活を支援できる体制が整っていることも伝えていきます。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	散歩や入浴等リラックスした日々の関わりの中で、本人の言葉や行動から意思や意向を把握するよう努めている。日常の記録に本人の言葉を残しています。意思疎通が困難な場合はご家族と協議し、最善策を取っていきます。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の訪問調査や契約時に、本人やご家族、ケースワーカーに生活歴や趣味等の聴き取りを行うと共に、日々の話の中から伺う事もあります。その情報を職員間で共有しケアに活かせるようにしています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	表情や行動からご入居者様の意向を汲み取るように心がけています。その生活状態を記録しており、24時間を通して職員間の申し送り等で状況の把握がされています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>日々の関わりの中でご本人やご家族思いや要望を聴き反映させています。また、カンファレンスを行い職員全員が情報や意見を出し合い、十分なアセスメントを取りケアプラン作成を行っています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人の生活記録に加え、ケースノートがあり気づきや課題点等を自由に記入できるようにしています。職員全員が出勤時に確認し把握しています。ケアプラン見直しは各記録に基づいて行なっています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人やご家族の状況に応じて通院等必要な支援を行なっています。また、入居者様の今一番したいことを支援し外食・買物等へ出かけています。レストラン風の音での月1回食事会・月2回の音楽療法もあります。また、会社の様々な事業所を組み合わせ柔軟な対応が取れる体制も整っています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自治会に加入しており、夏祭りや運動会等に参加しています。運動会では、地域の方々が介助を手伝ってくださり、多くの入居者様が競技に参加することができました。また、大正琴等、地域の方がボランティアに来て下さっています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前のかかりつけ医を中心に考えながらも、内科と精神科の協力医療機関があり、ご本人やご家族の希望を聞き主治医を決めて頂いています。また、病状の変化により主治医の変更もでき、適切な医療を受けられる体制がとられています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションとの契約に基づき日々の健康管理をして頂いています。相談にのって頂いたり、助言して頂く事もあります。また、24時間連絡体制を取っていますので急変時等にも指示が受けられ、協力医療機関とも連携体制が取れています。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院医療機関の医師・看護師・相談員と話をする機会を作り、ご家族の意向も踏まえ、ホームでの生活が可能な段階で退院できるよう医療機関、ご家族と協議し決めます。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合における対応に係る指針を定められています。ご家族、主治医、訪問看護師、管理者で今後の医療方針について協議し、ご本人、ご家族の希望を尊重し、終末期に向けた医療の選択を行なっています。その方にふさわしい送りを心掛けています。		
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会社全体の勉強会や研修を通して「緊急時対応マニュアル」を作成し、いつでも職員が見れるよう事務所においてあります。泉区主催救命救急講習や防災訓練に参加しています。また、横浜市の防火安全研修にも参加しています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自治会主催の防災訓練に参加しました。また、地域住民参加の夜間想定防災訓練を消防署指導のもと実施しました。自治会長はじめ地域住民5名の参加があり、積極的なご意見を頂くことができました。ホーム職員は全員が参加しています。備蓄品はホームで3日分、法人でも準備されています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入職時や毎月のカンファレンスでプライバシー保護、個人情報の取り扱い、守秘義務等について説明し、職員の意識向上を図っています。また、日々の業務でも周囲に配慮し、声の大きさに気をつけています。なお、会社全体の勉強会のテーマに上がることもあります。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	1日の生活の中では特に制限を設けず、入居者様の意思を尊重し生活して頂いています。日々の生活の中では常に受容の態度で接し、ご本人の意思決定を待ち物事をすすめています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の状態に配慮し柔軟に対応しています。入居者様の「今」出来ること、「今」したいことを大切にしたい対応を心掛けています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日に着る服は、ご本人が決めています。自己決定がしにくい方には職員と一緒に選んでいます。毎日お化粧をしておしゃれを楽しむ方もいらっしゃいます。また、定期的に訪問理容を利用しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おやつの時間等に何が食べたいか希望を聞き、出来る範囲内で対応しています。食事形態をご本人に合わせています。また、野菜の皮むき、味見、盛り付け、食器拭き等をして頂いています。月1回、風の音へ外食しに出掛けます。季節ごとの行事等では普段と違った食事を楽しみます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を毎日チェック表に記録し、体調管理に努めています。個々の状態に合わせた食事形態で提供しています。また、1週間の献立をもとに摂取カロリーの算出を依頼し、栄養バランスの把握にも努めています。週1回体重測定も実施しています。		
42		<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っています。仕上げは職員が介助し舌のケアも行なっています。就寝時は市販の洗浄剤にて義歯の洗浄を行なっています。週1回歯科往診があり口腔ケアを行っています。		
43	16	<b>排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて記録をとり、周期やパターンを把握できるようにしています。夜間と日中で対応を変える等、個々に合わせた対応をしています。		
44		<b>便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床後に全員に冷たい牛乳を飲んで頂いています。炊飯時には、粉寒天を混ぜて炊いています。また、散歩とラジオ体操は毎日の日課となっています。天候の悪い日には廊下歩きをして予防に取り組んでいます。		
45	17	<b>入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的には毎日の入浴となっていますが、ご本人様の希望で1日おきに入る方もいます。湯温や湯量も個々に合わせ対応しています。足浴等も取り入れています。また、ゆず湯や菖蒲湯等、季節を楽しんで頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間の設定はしておらず、個々のリズムに合わせています。午後、休む習慣の方もいらっしゃいます。日中、散歩やアクティビティー等を行い活動的に生活し、夕食後は穏やかな時間をもち、安眠へとつなげています。		
47		<b>服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに、ご本人が内服している薬の説明書がファイルされ確認できます。薬の処方内容に変更があった場合、症状の変化などを観察、記録し、主治医に報告しています。		
48		<b>役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割分担があり、張り合いを持って生活できるよう支援しています。お手伝いを楽しむ方や、ハーモニカ、塗り絵、裁縫、編み物、広告でのゴミ箱作り等、個々に合った楽しみ方をされています。		
49	18	<b>日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や甘い物を食べに出掛けたり個々の希望に添った外出支援の取り組みをしています。また、レストラン風の音へ月1回食事会、月2回音楽療法に出掛けています。本社からの送迎支援もあります。また、民生委員の方が時折散歩のお誘いに来て下さいます。		
50		<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	おこづかいとしてホームでお金を預かっている方もいます。収支を記録しています。買物と一緒に出掛けることもあります。所持金を利用し支払いができる様に支援しています。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はかけたい時に、いつでもご利用でき、ご家族や成年後見人に自由にかけています。ご家族からかかってきて話をされる方もいます。ハガキや、切手を購入し手紙や年賀状を出される方もいます。。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の大半はリビングで過ごしているため、リビングの大きな窓から自然と光が入り、日光浴ができています。季節にあった題材を選び、一緒に工作等の創作物を作成し、季節感を感じてもらえるよう工夫しています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間には食席のほかソファや和室があり入居者様が思い思いの場所で過ごせるようにしています。テレビを観たり、新聞を読んだり、塗り絵やゲーム、日々のお手伝いをしたりと、それぞれの時間を過ごされています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室のレイアウト等は、個々の好みや馴染みの物が使用されています。壁には気に入った切り抜きや写真、創作物の塗り絵等を貼られ、ご自分が落ち着ける空間となっています。居室ごとに、その人らしさが表れています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リビング、廊下には物を置かず車椅子の方が自操作しやすいようにし、テーブル席は出入りしやすい場所にしています。台所の外に設けているシンクを使い入居者様と職員が向かい合い調理や野菜洗い、布巾洗いをしています。		

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会にて、地域住民がホームに協力したくても、何をしたいかわからない、ホーム側から積極的に声を掛けてほしいとの意見がだされた。ホームとして協力ばかりして頂いている現状である。	今後はホーム行事などに地域の方々も交えて行っていき、地域との交流を、もっと密にしていき、気軽に立ち寄れる環境を整えていきたい	流しそうめん、敬老会の行事に地域の方々に参加頂けるように企画していきたい。入居者の混乱を避ける為、少人数から始めてみる。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。